



# 碧空

校訓 敬愛 創造

第86号

令和 5年 1月27日 発行

北海道三笠高等学校

〒068-2107

三笠市若草町397番地

電話 01267-4-2200

FAX 01267-2-6365

## 「働くこと」

藤田 博史

明けましておめでとうございます。

新年も1ヶ月ほどを過ぎましたが、各家庭におかれましては良い年をお迎えのことと思います。

現在、3年生は多くの生徒が進路先の内定をもらっていますが、「働くこと」について考えてみました。

若者達の「働くこと」への認識は「生活するため」「お金を稼ぐため」等が多いようです。

そこで、こんな笑い話があります。

父：「おい、そんなところでゴロゴロしてないで、勉強しなさい」

息子：「どうして勉強しなくちゃいけないの？」

父：「勉強しないといい学校には入れないだろ」

息子：「どうしていい学校に入らなきゃいけないの？」

父：「いい学校に入らなきゃ、いい会社には入れないだろ」

息子：「どうしていい会社に入らなきゃいけないの？」

父：「いい会社に入らなきゃ、いい暮らしができないだろ」

息子：「いい暮らしって、何さ？」

父：「そうだなあ・・・、うーん、寝て暮らせるってことだ」

息子：「じゃあ、今の僕だ(ドヤ顔)」



私がつい先日経験した年末年始、まさに食べて寝て暮らしている生活を「いい暮らし」とはなかなか考えづらいものです。「こんな生活続けていたら健康に悪いなあ」などとも思っていました。

「働くこと」が「お金を稼ぐため」とか「生活するために働く」「勤労は義務だから」という考えもありますが、果たしてそれだけなのでしょうか。仕事を通じて得られることが他にもあるはずですよ。

ほとんどの仕事は他者と関わらざるを得ない。同僚やお客さん、動植物も含まれるでしょう。そんな他者との交流があり、そこに「ありがとう」「おいしかったよ」「よくやった」といった感謝や労いの言葉などから、自分の能力を発揮できたことや、認められたり自分の人格を肯定されたりすることに喜びを感じる。さらにいろいろな人と出会い、多くのことを学び、様々な業務をこなすうちに、結果的に職業人として成長や進化を遂げている自分に気づき、自己有用感とか自己肯定感を得られることになる。このようなことが「働くこと」の意味なのではないでしょうか。則ち①他者との交流ができること、②自分の力を発揮できること、③成長・進化できること、④承認欲求が満たされること、などです。

働くことには辛く、大変なことも多いものですが、前述のような働くことの喜びを感じて仕事に向かって欲しいと願っています。

# スキー授業実施!



冬休みが明け、1・2年生のスキー授業が始まりました。初めてスキーに挑戦する生徒もいるため、無事に帰校できるか心配でしたが、大きな事故や怪我もなく、順調にスキー授業が進められています。10年に1度の強い寒気に負けることなく、スキー授業に参加した生徒たち!みんな、笑顔で乗り切ることができましたね!



指導者からの指導事項を確認します。



天気も笑顔も最高!スキーって楽しい!



営業日などのご確認はこちらからどうぞ

製菓部  
Instagram

調理部  
Facebook



## 今後の行事予定

1	水	保護者謝恩会 スキー授業(1年)
2	木	3学年家庭学習期間 (~27日) スキー授業(2年)
7	火	完全下校 16:05
8	水	完全下校 15:55
9	木	閉寮(12時まで)
10	金	<b>推薦入試</b>
11	土	建国記念の日
12	日	閉寮(13時から)
13	月	6校時カット・完全下校 15:05
14	火	6校時カット・完全下校 15:05
15	水	検便
16	木	学年末考査① 6校時カット・完全下校 15:05
17	金	学年末考査②
20	月	学年末考査③
21	火	6校時カット・完全下校 15:05
22	水	調理技術コンクール(調理部)
23	木	天皇誕生日 スクーリング
28	火	卒業式予行・同窓会入会式 表彰伝達式 完全下校 14:00



1	水	卒業式 完全下校 (卒業生 12:15) (1・2年生 13:00) 閉寮(~7日)
2	木	<b>一般入試</b> (~7日)



次号は3月上旬に発行予定です。

2月はさらに寒さが厳しくなります。  
どうぞご自愛ください。

